

サイト運用を効率的に!!

PUBLIS **Cloud**  **Microsoft Azure**

IT部門とマーケティング部門の「理想」を両立するCMSクラウドサービス



SITE PUBLIS®

株式会社サイト・パブリス

01 サイト運用の現状とジレンマ

02 保守工数「ゼロ」を実現するクラウド化

03 学習コストを9割削減する「見たまま編集」

04 IT部門に頼らず、公開スピードを最大化

05 SITE PUBLISのご紹介

01 サイト運用の現状とジレンマ

02 保守工数「ゼロ」を実現するクラウド化

03 学習コストを9割削減する「見たまま編集」

04 IT部門に頼らず、公開スピードを最大化

05 SITE PUBLISのご紹介

IT（情報システム）部門の悩み

- ・ 頻繁なパッチ適用、サーバー管理が重荷
- ・ バージョンアップ時の検証コストが甚大
- ・ 現場の自由度を上げるとリスクが増える

→ 運用保守の「負の資産化」



マーケティング部門の悩み

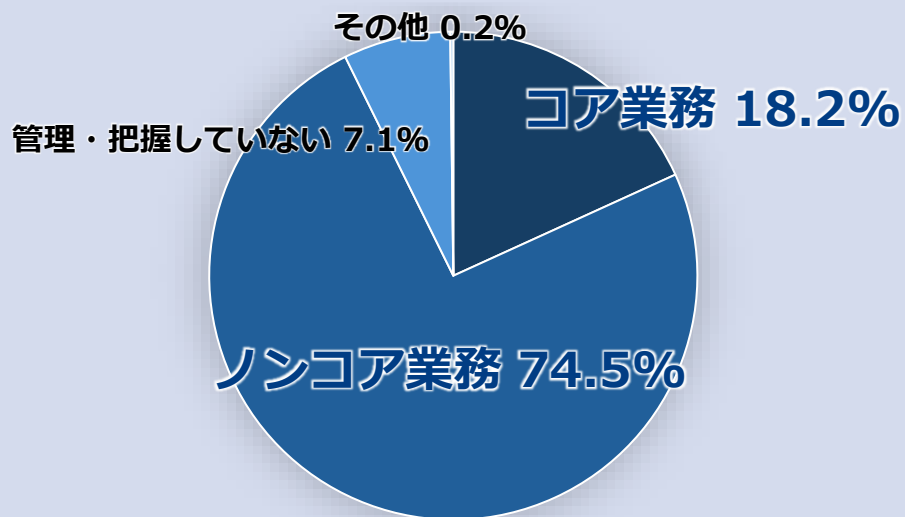
- ・ 修正のたびにIT部門への依頼が必要
- ・ 公開までに数日～1週間かかる
- ・ 操作が難しく、属人化している

→ スピード低下と機会損失



運用保守の「負の資産化」

74.5%が日々の運用管理といった「守り」のノンコア業務に追われる



情シス業務のうち、コア業務・ノンコア業務どちらに関与する時間が長いか

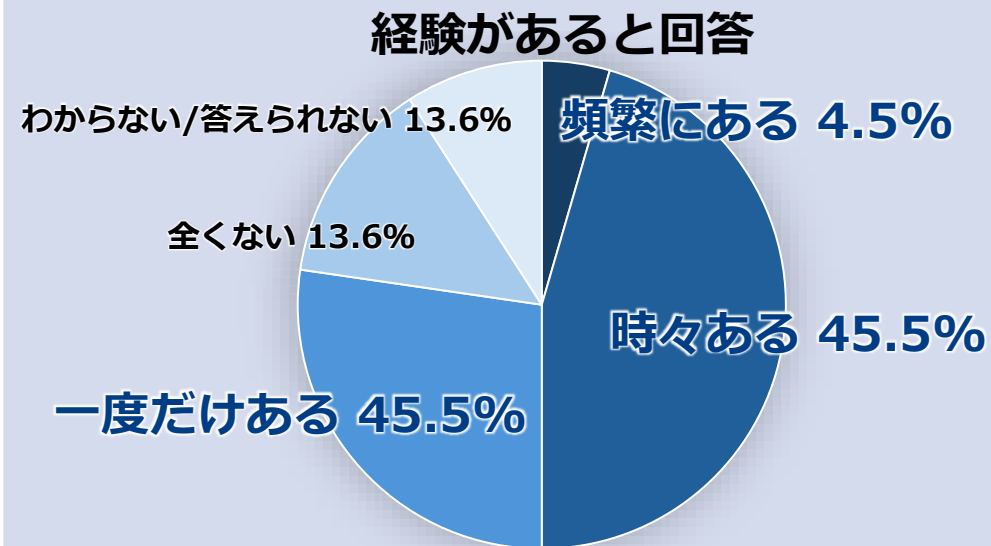
出典：株式会社ソフトクリエイト

調査名：情報システムの現状とIT活用実態アンケート2026

URL：https://www.softcreate.co.jp/news/detail/399

スピード低下と機会損失

約8割がWebサイトの更新が遅れたことで「商談や問い合わせの機会を逃した」



過去1年間で、自社のWebサイトの更新が遅れたり止まったりしたことが原因で、商談や問い合わせの機会を逃したと感じたことはありますか。

出典：株式会社イノーバ < <https://innova-jp.com/> >

調査名：「Webサイト活用」に関するアンケート調査

調査期間：2025年12月12日～同年12月15日

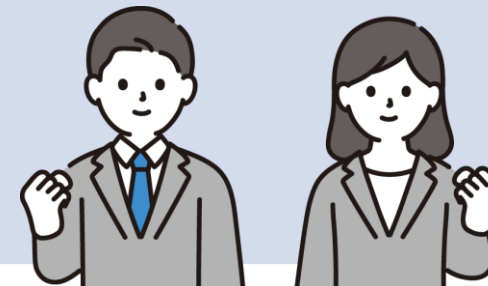
IT部門の「安全に、手間なく管理したい」と
マーケティング部門の「早く公開したい」を同時に叶える



PUBLIS Cloud on Microsoft Azure

- 保守・管理の極小化
- 学習・公開の高速化
- 自律的な運用体制

実績数値をご紹介します



01 サイト運用の現状とジレンマ

02 保守工数「ゼロ」を実現するクラウド化

03 学習コストを9割削減する「見たまま編集」

04 IT部門に頼らず、公開スピードを最大化

05 SITE PUBLISのご紹介

インフラ管理に縛られない「クラウドサービス」のメリット

- 物理的・仮想的なインフラ管理が不要
インフラレベルのアップデートやセキュリティパッチ適用はベンダにお任せ
- マイナーバージョンアップやパッチ適用時、リリース前に代表的な環境をクローンし、機能やセキュリティ強化内容を事前に検証のうえ反映



▲ 100%

バージョンアップ作業時間削減

メンテナンスとバージョンアップにかかる時間を不要にします。

【実績例】

オープンソース系CMSでは「18ヶ月ごとに5~8人で3ヶ月」かけていた大規模なアップデート作業が完全に不要に

01 サイト運用の現状とジレンマ

02 保守工数「ゼロ」を実現するクラウド化

03 学習コストを9割削減する「見たまま編集」

04 IT部門に頼らず、公開スピードを最大化

05 SITE PUBLISのご紹介

「誰でも・すぐに・正しく」 運用できる直感的な操作性



- 直感的なインターフェース
- 特別な技術スキル不要
- 作成・編集・レビューを統合





▲ 85%

トレーニング時間削減

既存のCMSと比較して、操作習得にかかる時間を劇的に短縮します。

【実績例】

既存のCMSで1週間ほどかかっていた操作教育が、SITE PUBLISならわずか1日で完了。

01 サイト運用の現状とジレンマ

02 保守工数「ゼロ」を実現するクラウド化

03 学習コストを9割削減する「見たまま編集」

04 IT部門に頼らず、公開スピードを最大化

05 SITE PUBLISのご紹介

IT部門を介さず、**現場だけで完結**する柔軟な更新・公開プロセス



- 共通パーツ（シェアブロック）等を活用することで、複数ページにおける重複作業をなくして一括更新可能
- 細かい権限設定と承認フローにより、IT部門に頼らずに、複数のコンテンツ制作と公開を同時並行で進行可能
- 一部の管理者に依存することなく更新作業ができ、Webサイト運用のスピードと柔軟性が向上



▲ 1200時間

更新作業時間削減

既存公開ページの修正内容を継承しながら新規公開予定のページを制作できるようになり作業時間を大幅に短縮します。

【実績例】

SITE PUBLIS導入後、既存CMSと比較すると新規ページ制作における修正漏れがなくなり、確認・承認作業も含めて月約100時間の削減を実現。

10日 → 1日

公開作業圧縮

Web制作会社から納品されたLPデータを管理画面上からアップ、公開予約も可能なため、公開フローの時間を短縮できます。

【実績例】

既存CMSからSITE PUBLISに移行したことで、LP完成後、CMSへの組み込み作業、もしくはIT部門へのサーバアップロードの依頼等で公開まで10日かかっていたところ、1日短縮。

01 サイト運用の現状とジレンマ

02 IT部門に頼らず、公開スピードを最大化

03 学習コストを9割削減する「見たまま編集」

04 保守工数「ゼロ」を実現するクラウド化

05 SITE PUBLISのご紹介



2003年発売の純国産の
商用版CMS「SITE PUBLIS」

20年以上の実績

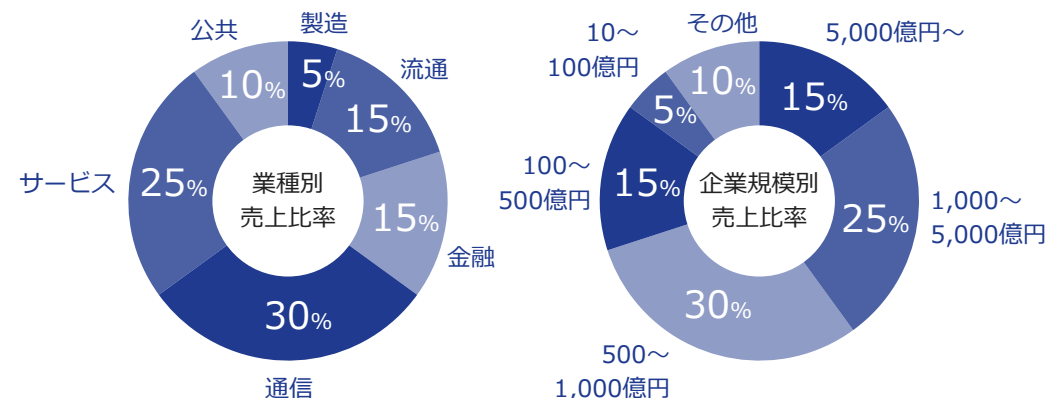


あらゆる業種・業態・会社規模に
対応できるラインナップ

導入
実績 **650**社・団体以上



自社で開発・保守・サポート



国産CMSとして20年以上培った信頼と実績

SITE PUBLIS® は、大手企業様、官公庁・自治体様など幅広い導入実績がございます。
純国産で20年にわたる実績を持つCMSは **SITE PUBLIS®** だけです。



一般社団法人
日本旅行業協会



高千穂大学
TAKACHIHO UNIVERSITY SUGINAMI TOKYO



巴工業株式会社



EmotionTech



人と技術で未来をひらく
大阪ガスビジネスクリエイト株式会社



YAMAICHI INFORMATION SYSTEMS CO., Ltd.



ヘルマンタイトン株式会社



簡単操作（見たまま編集）

使いやすい操作感で、コーポレートブランドを崩すことなく
各拠点・部署・担当者が情報をタイムリーに更新可能



コーポレート・ガバナンス

承認フローも完備で、ガバナンスを強化した一元管理・運用が可能
※担当者ごとの権限の詳細な切り分けにより、情報管理が容易



拡張性

全ての要素を「ブロック」にて構成しており、デザイン面でも、
外部との連携においてもブロック単位で拡張・追加が可能

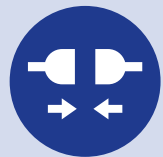
パッケージ提供とカスタム開発を一気通貫でサポート

大規模開発の実績多数のサイト・パブリスがお手伝いします！



オリジナルの機能追加（プラグイン開発）

- ブロック単位の機能追加も



システム連携

- データベースと連携したパーソナライズ化したサイトへ
- フォーム機能と連携し、情報をデータベースに反映も
- マスターデータを参照したコンテンツ表示
- ヘッドレスCMS機能を使った他システムとの連携も可能、安全かつ効率的なデータ連携

大規模サイト向け

SITE PUBLIS 4

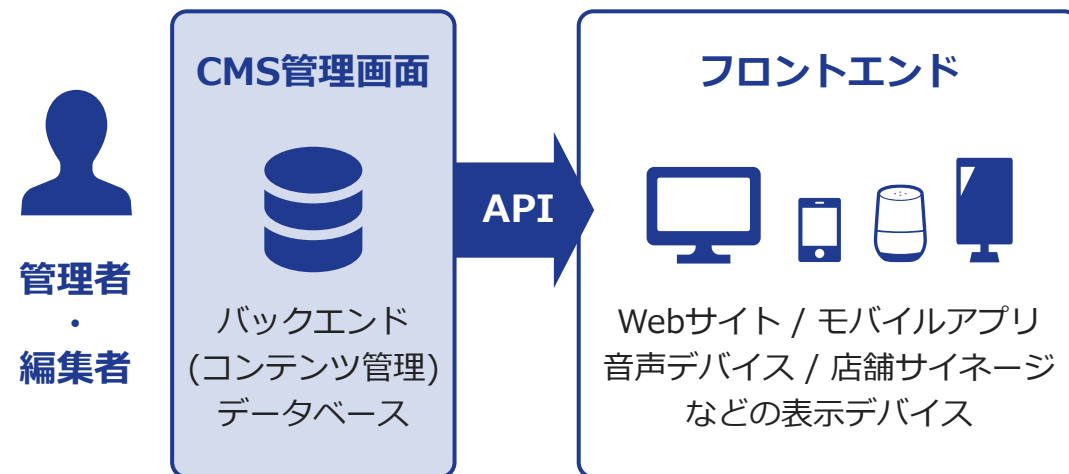
- 自社のプライベートクラウド環境やイントラネット環境などへインストールしてご利用可能
※クラウド環境とのセットサービスもご提供
- 大規模Webサイトの**運用効率性・開発生産性が向上**



中・小規模サイト向け クラウドサービス

SITE PUBLIS Connect

- CMSとクラウド環境がセットのサービス
- スピーディな基盤構築、**スケジュール短縮**が可能
- ヘッドレスCMS機能により、登録コンテンツを有効活用



社名	株式会社サイト・パブリス
代表取締役社長	時 慧
資本金	9,200万円
東京本社	〒102-0074 東京都千代田区九段南四丁目8番19号 CIRCLES+市ヶ谷駅前 11階
福岡オフィス	〒812-0038 福岡県福岡市博多区祇園町2番35号 プレスト博多祇園ビル2階
Webサイト	https://www.sitepublis.co.jp/



お問い合わせはこちら

<https://www.sitepublis.co.jp/inquiry/contact>



CMSについての
資料請求はこちら

<https://www.sitepublis.co.jp/inquiry/request>